

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" data-bbox="638 716 1173 1086"><tr><td data-bbox="638 716 893 907">1</td><td data-bbox="893 716 1173 907">2</td></tr><tr><td data-bbox="638 907 893 1086">3</td><td data-bbox="893 907 1173 1086">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0426
0427
0428
0429

所 属 第四軍第一二三師團 部隊名 工兵第一二三聯隊 通稱號 松風一五三〇六 郵便所名

全般概要					轉入	轉出	人員編制	隊別	隊長名	戰時人員	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソノ迄の變動	入ソノ人員	滿洲残留	收容		
孫吳地區に編入せる部隊は「ソ」軍の侵入と六、二八、九、八、一、個連隊を編成せるも終戦により八、一五、高野師団九、七孫吳出發九、一四「ソ」軍に對し海河地附近で激戦を遂げ、使役に當つてソと闘われ					十九年以降	十九年以降		聯隊	(内は先代を示す)	戰時人員	平時	戰時	二部を以て孫吳附近の橋梁破壊大部は孫吳、陣地(花貝山)へ入る(八、九、一〇、一)一ヶ中隊位兵舎に於て急造橋梁製作(八、一二、八、一二)大部分は陣地、戰鬥ナシ		九、七 孫吳出發約五〇〇名 九、一三 約三五〇名發隊員は發隊 一一、七 ライチハ發	隊別計		收容	
ソ軍第一中隊の編成は左の如くである 指揮班 一小隊 四ヶ分隊 二一小隊 三一小隊 四一小隊 器材分隊 15 60 60 60 60 15								聯隊											
第一中隊					第二中隊			第三中隊			第四中隊			第五中隊			第六中隊		

部隊名 工兵第一一二三聯隊

通稱 松風一五三〇六

郵便所名

隊別				隊長名	開人	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ入員	入ソ入員計	滿洲残留	收容所		歸還人員計	状況不明者数
中三第	隊中二第	隊中一第	本部隊聯	少佐 廣川	時員							平時	戦時		

二部を以て深奥側迄の橋梁破壊大部は孫兵
陣地(花貝山)へ入る(八、九、八、八、一
一)ケ中隊位兵舎に於て急造橋梁製作
(八、一二八、二二)大部分は陣地、戦
斗なし

九、七 孫兵出資約五〇〇
九、一三 約三五〇名發
員は發給
一、七 ライチハ液

一、本隊の編成は左の
 通りである。一、本隊の
 編成は左の通りである。
 二、本隊の編成は左の
 通りである。三、本隊の
 編成は左の通りである。

一、本隊の編成は左の
 通りである。二、本隊の
 編成は左の通りである。
 三、本隊の編成は左の
 通りである。四、本隊の
 編成は左の通りである。

15 60 60 60 60 12

隊 小 材 器	隊 中 三 第	隊 中 二 第	隊 中 一 第	部 本 隊 聯
				少佐 廣尾
				吳 孫
				吳 孫
				一、本隊の編成は左の通りである。 二、本隊の編成は左の通りである。 三、本隊の編成は左の通りである。 四、本隊の編成は左の通りである。
				一、本隊の編成は左の通りである。 二、本隊の編成は左の通りである。 三、本隊の編成は左の通りである。 四、本隊の編成は左の通りである。

隊小材器	隊中三第	隊中二第	隊中一第	本部本隊聯
				吳 孫
				吳 孫
				(一) 花園山(八、八、九、八、一) (二) 中隊(兵舎)に於て急襲隊を (八、一、二、八、二二) 大部分は捕虜、 半なし
				六二〇 九、一三 三〇 三〇 三〇 三〇 三〇 三〇 三〇 三〇

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 725 1171 1095"><tr><td data-bbox="635 725 890 909">1</td><td data-bbox="890 725 1171 909">2</td></tr><tr><td data-bbox="635 909 890 1095">3</td><td data-bbox="890 909 1171 1095">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0430
0431
0432
0433

所 属
第四軍第二二三師團
部隊名 第一一二三師團通信隊
通稱 松満風一五二〇七八

郵便所名

全般概要

八、八〇八、一六、松満隊
三員、山見花、孫
八、一七、陣地に於て武備
後北隊員に收容され同地で
作業第三七大隊に編入され
九、中甸「ライチ」(一
九)「ブラゴエ」(ミハイ
ロスキー)の各收容所に夫
々收容された

轉入
轉出
十九年以降
十九年以降

員人調編

別除

隊長名
()内は先代を示す

駐屯地
平時
戦時

戦闘間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より
入「ソ」返の變動

入「ソ」人員
隊別計

滿洲殘留

收容
收容所名

本 部	有 線 中 隊	無 線 中 隊
大尉 長谷川義夫 少尉 外村 喜藏	少尉 山中 敦	
孫 吳 花見山		
八、一、一、松満隊、小隊中に移動、主力は 孫吳一部戦う。若干の損害あり 八、八〇八、一六、花見山陣地に「ソ」 軍の情報入手に任ず 有線の補修		
二〇、九、一三、約一〇名部隊長よりは なれば二七〇、露田大隊の大隊と共に孫吳 を致す 二〇、九、一四、殘員約六五名長谷川大隊 の大隊に編入せられ孫吳を出發		
九、一三、孫吳渡 九、一七「コンスタンチ」 一〇、二、七「ラヒチ」 第二收容所に入る		

部隊名第一二二三師團通信隊

通稱號 滿洲風一五二〇七

郵便所名

出降		人員編		別隊		隊長名		開人		駐屯地		戦闘間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より入ソ連の變動		入ソ連人員		滿洲残留		收容所名		所入		死亡		歸還人員		状況不明			
隊中線無	隊中線有	部	本	別	隊	隊長名	()内は先代を指示	時	員	平	時	戦	時	戦	時	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ連の變動	入ソ連人員	計	滿洲残留	收容所名	所入	死亡	歸還人員	計	状況不明	者	数					
						大尉 長谷川 義夫										八、二一「ゲ」分隊「小泉安」に移動、主力は孫吳一部を撃つ若干の損害あり 八、八、八、一六 花貝山陣地にて「ソ」軍の捕獲入手に任ず	九、一三 孫吳發 九、一七「コンスタチ」 一〇、二、七「ライチハ」 第二收容所に入る																
						少尉 外村 喜藏										二〇、九、一三 約一〇名部隊長よりはなれ歩二七〇、真田大尉の大隊と共に孫吳を發す 二〇、九、一四 獲兵約六五名長谷川大尉の大隊に編入せられ孫吳を出發																	
						少尉 山中 敦																											

八、八、八、一六
 八、一七 軍地に於て、
 後北條氏の戦害を以て、
 作樂隊三七大隊に編入され、
 九、中甸「ライチ」(一)
 九、中甸「ライチ」(一)
 ロッキー」の各收容所に夫
 々收容された。

本 部	隊 中 線 有	隊 中 線 無
大尉 長谷川義夫	少尉 外村 喜藏	少尉 山中 敦
吳 孫		
山見花		
<p>八二一 一ヶ分隊小隊安(二)等に、 系突一部隊とする若干の損害あり 八、八、八、一六 花見山隊地にて「ソ」 隊の編入手に係す 右段の補佐</p>		
<p>二〇、九、一三 第一一〇各隊隊長とシテは 必要二七〇、四四大隊の大隊と共に系突 を遂す 二〇、九、一四 隊員約六三名長谷川大隊 の大隊に編入せられ系突を遂す</p>		
<p>六、一三 系突隊 九、一七「コンスタンチ」 一〇、二、七「ライチハ」 第二收容所に入る。</p>		

部	隊 中 線 有	隊 中 線 無
少尉 外村 喜蔵		少尉 山中 敦
吳 泰		
山見花		
<small>右線の補佐</small> 茶袋一部隊とする若干の掃蕩あり 八、八、八、一六 花見山跡地にて 軍の掃蕩入手に任ず		
九、一七、二〇、二四、二六、二八、三〇、三二、三四、三六、三八、四〇、四二、四四、四六、四八、五〇、五二、五四、五七、五九、六一、六三、六五、六七、六九、七一、七三、七五、七七、七九、八一、八三、八五、八七、八九、九一、九三、九五、九七、九九、一〇一、一〇三、一〇五、一〇七、一〇九、一一一、一一三、一一五、一一七、一二〇、一二二、一二四、一二六、一二八、一三〇、一三二、一三四、一三六、一三八、一四〇、一四二、一四四、一四六、一四八、一五〇、一五二、一五四、一五七、一五九、一六一、一六三、一六五、一六七、一六九、一七一、一七三、一七五、一七七、一七九、一八一、一八三、一八五、一八七、一八九、一九一、一九三、一九五、一九七、一九九、二〇一、二〇三、二〇五、二〇七、二〇九、二一一、二一三、二一五、二一七、二一九、二二一、二二三、二二五、二二七、二二九、二三一、二三三、二三五、二三七、二三九、二四一、二四三、二四五、二四七、二四九、二五一、二五三、二五五、二五七、二五九、二六一、二六三、二六五、二六七、二六九、二七一、二七三、二七五、二七七、二七九、二八一、二八三、二八五、二八七、二八九、二九一、二九三、二九五、二九七、二九九、三〇一、三〇三、三〇五、三〇七、三〇九、三一〇、三一五、三一七、三二〇、三二五、三二七、三三〇、三三三、三三五、三三九、三四〇、三四三、三四六、三四九、三五〇、三五三、三五五、三五七、三五九、三六一、三六三、三六五、三六七、三六九、三七一、三七三、三七五、三七八、三八〇、三八三、三八五、三八七、三八九、三九一、三九三、三九五、三九七、三九九、四〇一、四〇三、四〇五、四〇七、四〇九、四一一、四一三、四一五、四一七、四一九、四二一、四二三、四二五、四二七、四二九、四三一、四三三、四三五、四三九、四四〇、四四三、四四六、四四九、四五〇、四五三、四五五、四五七、四五九、四六一、四六三、四六五、四六七、四六九、四七一、四七三、四七五、四七八、四八〇、四八三、四八五、四八七、四八九、四九一、四九三、四九五、四九七、四九九、五〇一、五〇三、五〇五、五〇七、五〇九、五一〇、五一五、五一七、五二〇、五二五、五二七、五三〇、五三三、五三五、五三九、五四〇、五四三、五四六、五四九、五五〇、五五三、五五五、五五七、五五九、五六一、五六三、五六五、五六七、五六九、五七一、五七三、五七五、五七八、五八〇、五八三、五八五、五八七、五八九、五九一、五九三、五九五、五九七、五九九、六〇一、六〇三、六〇五、六〇七、六〇九、六一〇、六一五、六一七、六二〇、六二五、六二七、六三〇、六三三、六三五、六三九、六四〇、六四三、六四六、六四九、六五〇、六五三、六五五、六五七、六五九、四六一、四六三、四六五、四六七、四六九、四七一、四七三、四七五、四七八、四八〇、四八三、四八五、四八七、四八九、四九一、四九三、四九五、四九七、四九九、五〇一、五〇三、五〇五、五〇七、五〇九、五一〇、五一五、五一七、五二〇、五二五、五二七、五三〇、五三三、五三五、五三九、五四〇、五四三、五四六、五四九、五五〇、五五三、五五五、五五七、五五九、五六一、五六三、五六五、五六七、五六九、五七一、五七三、五七五、五七八、五八〇、五八三、五八五、五八七、五八九、五九一、五九三、五九五、五九七、五九九、六〇一、六〇三、六〇五、六〇七、六〇九、六一〇、六一五、六一七、六二〇、六二五、六二七、六三〇、六三三、六三五、六三九、六四〇、六四三、六四六、六四九、六五〇、六五三、六五五、六五七、六五九、四六一、四六三、四六五、四六七、四六九、四七一、四七三、四七五、四七八、四八〇、四八三、四八五、四八七、四八九、四九一、四九三、四九五、四九七、四九九、五〇一、五〇三、五〇五、五〇七、五〇九、五一〇、五一五、五一七、五二〇、五二五、五二七、五三〇、五三三、五三五、五三九、五四〇、五四三、五四六、五四九、五五〇、五五三、五五五、五五七、五五九、五六一、五六三、五六五、五六七、五六九、五七一、五七三、五七五、五七八、五八〇、五八三、五八五、五八七、五八九、五九一、五九三、五九五、五九七、五九九、六〇一、六〇三、六〇五、六〇七、六〇九、六一〇、六一五、六一七、六二〇、六二五、六二七、六三〇、六三三、六三五、六三九、六四〇、六四三、六四六、六四九、六五〇、六五三、六五五、六五七、六五九、		
九、一七「コンスタンチ」 一〇、二七「ラエチア」 第二隊を編入		

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="639 719 1177 1093"><tr><td data-bbox="639 719 900 904">1</td><td data-bbox="900 719 1177 904">2</td></tr><tr><td data-bbox="639 904 900 1093">3</td><td data-bbox="900 904 1177 1093">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0434
0435
0436
0437

所 第四軍第一二三師團 部隊名 輜重兵第一一二三聯隊 通稱 松風 四四八 一五二〇七八 郵便所名

全般概要						轉入	轉出	員人制編	隊別	隊長名	戰時人員	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソノ迄の變動	入ソノ人員	滿洲殘留	收容		
孫吳遼寧山嶺地に集結し戦斗準備中隊とす。前線長命令に依り現地解散する(八、一六)迄に北安地嶺に退去せざりし者、自決、拉致の何れかなり、師団以下檢送班約五〇〇名直ちに北安に南下し解放す						十九年以降	十九年以降		聯隊本部	少佐：守部 武雄 (内は先代を示す)					八、一一 主力は二六八聯隊二七〇聯隊に移動後、八、一三 北水台嶺地 八、一一 遼遼山嶺地に入る		九、一二 孫吳に於て編成 九、中甸「ギルタ」 一一、ライチ「ハ」收容所に入る			
中三第	部本隊大二第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本隊聯				中尉 鈴木											
	中尉 小倉												八、八 開戦「二隻山死守」 八、九 被襲後、敵戦車來襲戦死三、四名 八、一三、八、一七 包圍され追撃の兼 中尉撃ちつけ死傷續出 八、一八 忠節山嶺地に撤退する							

輜重兵第一一二三聯隊

通稱號 松風一五二〇七八

郵便所名

隊長名 (内は先代を示す) 少佐：守部 武雄	戦開人 時員	駐屯地		戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソノ返の變動	入ソノ人員 隊別計	滿洲殘留	收容所		歸還人員 滿洲ソノ領計	狀況不明 者數
		平	時						所人	死亡		
中尉 鈴木				八、一 主力は二六八聯隊二七〇聯隊に 移動後、八、一三 北水台陣地 八、一一 登 登山陣地に入る。		九、一二 孫吳に於て編成 九、中甸「ギルダ」 一一、ライチヘ一先收容所 に入る。						
中尉 小倉				八、八 閉戦「二寶山死守」 八、九 被空襲、敵機軍用機三機、四名 八、一三、一六、一七 包圍され追撃砲の集 中射撃をうけ死傷後出 八、一八 忠節山陣地に撤退す。								

孫兵衛山陣地は築造し、
 半隊中隊を配置し、
 司令部を設け、
 (八、一六)に北安陣地
 を設け、
 司令部を設け、
 北安を南下し解放す

二〇、八、一七 孫兵衛陣地
 にて武装解除、「キルト」
 「ライチン」收容所に入る

隊中五第	隊中四第	隊中三第	部本隊大二第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本隊聯	
			中尉 小倉			中尉 鈴木	少佐 守部 武雄	
				八、八 開戦「二隻山死守」 八、九 被空襲、敵機軍用機死三、四名 八、一三〇八、一七 包圍され追撃砲の集 中射撃を受け死傷多数 八、一八 忠節山陣地に撤退す				八、一一 主力は二六八隊(二七〇)に 移動、八、一三 北本三三、八、一二 隊に加入す
							六、一二 孫兵衛に於て 九、廿二「キルト」 一、一「ライチン」に收容 所に入る	

隊中五第	隊中四第	隊中三第	部本隊大二第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本隊聯
			中尉 小倉			中尉 鈴木	少佐・守衛 田代
				八、八開戦「二黄山死守」 八、九 被撃、敵軍軍襲撃死三〇四名 八、一三〇八、一七 包圍され追撃砲の暴 中尉をうちけ死傷擯出 八、一八 忠節山降地に撤退す。			八、一 三ノ宮ニテハ吾等ニ付テハ 多量被、八、一三 北水舎降地、八、一七 降し降地に入る
							六、一二 探突に於て公放 九、中包「ギルダ」 一、一、ライオンハ一先攻等 に入る

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 725 1171 1099"><tr><td data-bbox="639 725 895 909">1</td><td data-bbox="895 725 1166 909">2</td></tr><tr><td data-bbox="639 909 895 1099">3</td><td data-bbox="895 909 1166 1099">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A3判以上のため				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0438
0439
0440
0441

第四軍第一二三師團 部隊名 第一二三師團兵器勤務隊

通稱號

滿松風一九二〇九五

郵便所名

全般概要	轉入		轉出		員人訓編	別隊	隊長名 ()内は先代を示す 大尉 清水 吾一	戦開人 時員	駐屯地 平時 戦時 孫 吳 台北	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入「ソ」迄の變動	隊別 計	滿洲残留	收
<p>二〇、八、一二 孫吳北水 台陣地に移動、兵器運搬の 輸送に任ず戦時勤務は殆ん ど對空損害は無微</p> <p>八、一七 陣地に於て武裝 解除を命ぜられ「ソ」軍に進行 させ「ソ」領に送られるそ の後の詳細不明なり</p> <p>「孫」部隊は解散する事な く收容せらる</p> <p>「孫」又「一〇、五」孫吳 (北水台)を發し「ソ」軍に 「一」收容所に入所すとの資 料あり</p>															

		出降
		編制人員
		隊別
	大尉 清水 吾一	隊長名 (内は先代を示す)
		開入 戦時 人員
	孫 吳	駐屯地 平時
	北水台	戦時
		戦闘間の状況及損耗
		終戦後の人員變動
		作業大隊より 入ソ迄の變動
		入ソ人員 隊別計
		満洲残留
		收容所名
		所入 死亡
		満洲より 領より
		計 人員
		状況不明 者数

部隊名 第一一二三師團兵器勤務隊

通稱號

滿松風一九二〇九五

郵便所名

二〇、八、二 系系北水
寺部に於て、系系北水の
發源に在りて、系系北水
の發源に在りて、系系北水
の發源に在りて、系系北水

八、一、一 陣地に於て、發源
に在りて、系系北水の發源
に在りて、系系北水の發源
に在りて、系系北水の發源

「系系北水」の發源に在りて、
系系北水の發源に在りて、
系系北水の發源に在りて、
系系北水の發源に在りて、

「系系北水」の發源に在りて、
系系北水の發源に在りて、
系系北水の發源に在りて、
系系北水の發源に在りて、

大正 清水 香一

吳 系

台水北

大塚 隆太 三一

吳 孫

台水北

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 721 1171 1093"><tr><td data-bbox="641 730 890 904">1</td><td data-bbox="896 730 1165 904">2</td></tr><tr><td data-bbox="641 913 890 1088">3</td><td data-bbox="896 913 1165 1088">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0442
0443
0444
0445

全般概要		所属	
轉入		第四軍第一二三師團	
轉出		部隊名	
人員編制		第一二三師團衛生隊	
別隊		通稱號	
隊長名		松風一五二二	
戰時人員		郵便所名	
平時駐屯地		滿洲殘留	
戦闘間の状況及損耗		收	
終戦後の人員變動		計	
作業大隊より入ソノ迄の變動		入ソノ人員	
隊別		計	
計		計	

部隊名 第一二二三師團衛生隊

通稱號

松風一五二二二

郵便所名

得出
九年以降

人員編制

別隊

隊長名
(内は先代を不示)

戦時
人員

駐屯地
平時
戦時

戦闘間の状況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より
入ソノ迄の變動

入ソノ人員
除別計

滿洲殘留

收容所名
收容所

死亡

滿洲ソノ類
より
計

歸還人員
者
数
狀況不明

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="630 728 1166 1099"><tr><td data-bbox="630 728 890 913">1</td><td data-bbox="890 728 1166 913">2</td></tr><tr><td data-bbox="630 913 890 1099">3</td><td data-bbox="890 913 1166 1099">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0446
0447
0448
0449

第四軍第一二三師團 部隊名第一二三師團第一野戰病院

通稱號松風一五二二三

郵便所名

全般概要		二〇、八、一八 各部隊の陣地後退「」軍に進行される間獨立隊として患者收容に任ず。		九、一六 遊兵隊突發		一〇、二五「エロフ」ニベウイラチ」收容所に入る。	
轉入	轉出	十九年以降		十九年以降			
人員	編制	軍醫 三名		衛生兵 二〇名		下士官 兵 100名	
隊名	隊長名	軍醫中尉 佐藤 愛平		()内は先代を不示す			
開人	戦時	戦時		平時		戦時	
駐屯地	戦時	戦時		平時		戦時	
戦闘間の状況及損耗							
終戦後の人員變動							
作業大隊より入「ソ」迄の變動							
隊別	入「ソ」人員						
計	満洲残留						

部隊名第一二三師團第一野戰病院

通稱號松風一五二二三

郵便所名

出降		人員		別		隊長名		戦時		戦間		戦後		作業		收容		歸還		不明	
出降	人員	別	隊長名	戦時	戦間	戦後	作業	收容	歸還	不明	戦時	戦間	戦後	作業	收容	歸還	不明	戦時	戦間	戦後	
	100名	衛生兵 20名 軍醫 3名 下士官 兵	佐藤 愛平																		

新編 徳川実録 卷之九

二〇、九、一四 下士官兵
一〇〇〇名 第一遊撃隊として
編成された

九、一六 薩長編隊
一〇、二五 五〇〇名
「サウナン」收容所に入る

軍醫
三名

衛生兵
二〇名

下士官
兵官
100名

各
隊
長

軍醫
三名

衛生兵
二〇名

下士官
兵
100名

陸軍
部 第11
軍 第11
隊

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 719 1174 1088"><tr><td data-bbox="635 719 895 902">1</td><td data-bbox="895 719 1174 902">2</td></tr><tr><td data-bbox="635 902 895 1088">3</td><td data-bbox="895 902 1174 1088">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0450
0451
0452
0453

全般概要		所属	
轉入		第四軍第二二三師團	
轉出		部隊名	
編制人員		第一二三師團第二野戰病院	
隊別		通稱號	
隊長名 (内は先代を示す)		松風一五二四	
開入 職員		郵便所名	
駐屯地 平時			
戦時			
戦闘間の状況及損耗			
終戦後の人員變動			
作業大隊より 入ソノ迄の變動			
入ソノ人員			
隊別計			
滿洲殘留			
收			

	員人制編	部隊名	第一二二三師團第二野戰病院
	別 隊	通稱號	松風一五二二四
	隊長名 (内は先代を示す)	郵便所名	
	戦時 人員	駐屯地	
	平時 人員	戦闘間の状況及損耗	
	戦時 人員	終戦後の人員變動	
		作業大隊より 入ソ」迄の變動	
	隊別 計	入ソ」人員	
		滿洲殘留	
	收容所名	收容所	
	所入 死亡	歸還人員	
	より滿洲 より領	狀況不明 者 數	
	計		

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 712 1173 1086"><tr><td data-bbox="635 712 895 898">1</td><td data-bbox="895 712 1173 898">2</td></tr><tr><td data-bbox="635 898 895 1086">3</td><td data-bbox="895 898 1173 1086">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0454
0455
0456
0457

全般概要		属所	
轉入		第四軍第一二三師團	
轉出		部隊名	
員人制編		第一二三師團第四野戰病院	
別除		通稱號	
()内は先代を示す		松風一五二二五	
時員		郵便所名	
平時		駐屯地	
戦時		戰鬥間の狀況及損耗	
時		終戦後の人員變動	
入「ソ」迄の變動		作業大隊より	
除別計		入「ソ」人員	
		滿洲殘留	

						出 降
						編 綴 人
						隊 別
						隊長名 (内は先代を示す)
						開 人 戦 時 員
						駐 屯 地
						戦 斗 間 の 状 況 及 損 耗
						終 戦 後 の 人 員 変 動
						作 業 大 隊 よ り 入 ッ 迄 の 変 動
						入 ッ 人 員
						隊 別 計
						満 洲 残 留
						收 容 所 名
						所 人
						死 亡
						満 洲 ッ 領 よ り
						歸 還 人 員 計
						状 況 不 明 者 数

部隊名 第一二二師團第四野戦病院

通稱號 松風一五二二五

郵便所名

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="639 730 1177 1099"><tr><td data-bbox="639 730 903 913">1</td><td data-bbox="903 730 1177 913">2</td></tr><tr><td data-bbox="639 913 903 1099">3</td><td data-bbox="903 913 1177 1099">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0458
0459
0460
0461

所屬 第四軍第一二三師團 部隊名 第一二三師團病馬廠 通稱號 松風一五二二一 郵便所名

全般概要	八、一八 同日より部隊主力は孫吳北水台で陣地に在ったが		轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	編制人員 119	隊別	隊長名 ()内は先代を示す 獸醫大尉 榎本 由成	開火 戦時 人員	駐屯地 平時 戦時	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別 計	滿洲殘留	收 名
------	-----------------------------	--	-------------	-------------	-------------	----	------------------------------------	----------------	-----------------	-----------	----------	--------------------	-------------------	------	--------

部隊名 第一二二三師團病馬廠

通稱號

松風一五二二一

郵便所名

		別 隊		隊 長 名 (内は先代を示す) 獸醫大尉 榎本 由成		開 入 戦 時 員		駐 屯 地 平 時 戦 時		戦 斗 間 の 状 況 及 損 耗		終 戦 後 の 人 員 變 動		作 業 大 隊 以 外 入「ソ」迄の變動		入「ソ」人 員 隊 別 計		滿 洲 殘 留		收 容 所 名		收 容 所		歸 還 人 員 滿 洲「ソ」領 より 計		状 況 不 明 者 数	

ア、一、この日より
主方は孫兵衛水吉で、
左つたが

八、一八、同地で、
第一陸軍病院跡に、
改修

九、一四、同所を、
「ヨシタマシヤ」
改修

一〇、一四、「ライチヤ」
改修

源兵衛
源本
源成

綴
本
目
次

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="632 723 1163 1093"><tr><td data-bbox="632 723 890 907">1</td><td data-bbox="890 723 1163 907">2</td></tr><tr><td data-bbox="632 907 890 1093">3</td><td data-bbox="890 907 1163 1093">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0462
0463
0464
0465

		全般概要	属所
		轉入 十九年以降	第四軍第一二三師團
		轉出 十九年以降	
		員人制編	
		別除	部隊名
		隊長名 (内は先代を示す)	
		戰人 時員	第一二三師團防疫給水部
		駐屯地	
		平時 戰時	
		戰鬥間の状況及損耗	通稱號
		終戦後の人員變動	松風一五二二六
		作業大隊より 入ソ迄の變動	郵便所名
		隊別 計	
		滿洲 殘留	
		收容	

